



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 019 Dec 20, 2004

★次号 (Volume 020) の発行は2005年1月17日 (月) となります

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef (牛肉) とPork (豚肉) を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況 (11月29日～12月3日)

- 週間と畜頭数：58.5万頭(前年比5.2%減)。
- 肥育牛の取引価格 (100ポンド [約45kg] 当たり):
主要5市場では、平均89.86ドル(前週比1.55ドル高)。
枝肉価格は平均140.86ドル(同2.33ドル高)。
- 牛肉価格：歩留まり等級3(YG3)のチョイスは147.35ドル(前週比10.18ドル高)。YG2～3のセレクトは140.81ドル(同7.91ドル高)。
- 1～10月の前年同期比で、牛肉輸出は80%減少し、生体牛の需要は低調。しかし、リテール市場の牛肉需要は堅調で7.5%増。1人当たりの消費量は0.4%と微増だったが、小売価格は11.7%高という珍しい現象がみられた。
※2004年12月3日 Cattle Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)
- 生体牛取引価格、悪天候で再び値上がり

オクラホマシティーにおける去勢牛の体重別、100ポンド(約45kg)当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	11月29日～12月3日
400～500	135.00～153.00
500～600	110.50～125.50
600～700 (子牛)	110.00～114.00
700～725 (子牛)	101.50～109.50
750～775 (若齢牛)	108.75～112.75
800～875	107.50～110.75

※2004年12月3日 Cattle Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

11月の悪天候で肥育牛の不足が続き、パッカー各社は1頭当たり15～20ドルの赤字覚悟で買い付けをしている。100ポンド(約45kg)当たりの生体牛取引価格は、記録的豪雨と雪に見舞われたサザン・プレーンズ(オクラホマ南部～テキサス北部)では前週比1ドル高の90ドル、ネブラスカでは1～3ドル高の90～90.5ドル(牛肉価格では2～3ドル高の141ドル)だった。しかし、この取引価格はアナリストが予測した91～92ドルを下まわり、一部の肥育業者を落胆させた。

サザン・プレーンズのフィードロットの多くは、畜舎の後片づけに追われて2～3週間は大きな取引ができず、更に悪天候が予想される中、肉牛の出荷を見送ることに不安を抱えている。

また、パッカー各社は連日ボックスビーフ価格を押し上げていたため、生体牛を高値で買い付けた。と畜頭数は47万3000頭と、予想を下回る少量の取引だったが、バイヤーは必須アイテムをかなりの高値で買い付ける結果になった。

※2004年12月6日 Cattle Buyers Weekly



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (11月29日～12月3日)

●週間と畜頭数：208.2万頭(前年比1.4%減)。

●肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は前週比

0.50～1.00ドル高で推移。

主要市場における100ポンド(約45kg)
当たりの最高価格 (US\$)

	12月3日
ペオリア	55.00
セントポール	60.00
スーフォールズ	60.00
ミズーリ中央部	57.50

185ポンド物(約83.5kg)の
枝肉平均価格 (US\$)

	12月3日
東部トウモロコシ地帯	75.96
西部トウモロコシ地帯	82.11
アイオワ・ミネソタ	82.05
全 国	79.38

100ポンド(約45kg)当りの豚肉製品価格(12月3日/US\$)

製品名	価 格 (前週比)増減	備 考
ロイン	111.00 (+6.58)	トリム1/4インチ
ポストン・バット	92.00 (変わらず)	トリム1/4インチ
ポークベリー	95.00 (+2.00)	14～16ポンド物 (約6.3～7.3kg)
ハ ム	100.00 (+1.00)	17～20ポンド物 (約7.7～9.1kg)

※2004年12月3日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

●1～10月の前年同期比で、需要は肉豚で12.5%、豚肉で2.5%の伸び。肉豚取引価格は29.7%、豚肉小売価格は5.3%値上がりした。85%という高い需要率は、国内需要の増加によるものとみられる。

※2004年12月3日 Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

業界ニュース

●エコノミスト、牛群規模拡大を予測

カンサス州立大学農業エコノミストのミンタート氏は、最近の雌牛処理頭数の対雄牛比率からみて、2005年度は肥育規模がゆるやかながら拡大すると予測している。1999年以降、肉牛生産者は黒字経営が続いていたが、放牧地の状態が悪かったこともあり、肥育頭数を増やすための雌牛処理頭数制限は行わず、小規模な群れを維持してきた。しかし今年度も黒字が見込まれ、飼料となる牧草の供給も改善されたため、肥育牛処理に歯止めがかかり、穏やかな肥育規模拡大へと転じている。2004年度11月中旬までの雌牛処理頭数合計は、雄牛に対して91.3%だった。来年1月の農務省肥育頭数予測は、1996年以来初めて前年を上回る見通し。

※2004年12月3日 Agriculture Online

●肉牛肥育業者上位10社(2004年度ランキング)

順位	会 社 名	処理頭数	フィードロット数
1	カクタスフィーダーズ	520,000	10
2	コンティビーフ	455,000	6
3	スミスフィールド・ビーフグループ	387,000	5
4	キャブロックインダストリーズ	293,000	4
5	フリオナインダストリーズ	275,000	4
6	AzTX キャトル	232,000	5
7	J.R. シンプロット	230,000	2
8	キャトルコ/リベラルフィーダーズ	210,000	4
9	フォーステーツ・フィードヤード	195,000	8
10	アグリビーフ	180,000	6

※2004年12月6日 Cattle Buyers Weekly



業界ニュース

●スミスフィールド・フーズ、第2四半期大幅増収

同社は、2005年度第2四半期の純利益は前年比61%増の5,840万ドル(前年度は3,620万ドル)、売上高は27億1,900万ドル(20億5,800万ドル)と発表した。好調要因は成豚生産部門で、前年比36%高の高値により、営業利益は9,820万ドル(340万ドル)、売上高は5億2,650万ドル(3億400万ドル)を記録し、肉豚・豚肉加工部門の利益の落ち込みや牛肉事業部門の860万ドルの赤字を十二分に補った。牛肉販売量は前年比17%減、売上は5億2,720万ドル(6億6,000万ドル)だった。

豚肉輸出量は第2四半期で30%、上半期で22%の増加。豚肉価格は、内外の需要高を受けて前年より大きく値上がりしたが、原材料費増加分を十分に回収するには及ばず、豚肉部門利益は3,990万ドル(4,250万ドル)に終わった。

()内数字は前年度業績

※2004年12月6日 Meatingplace.com

●ネブラスカ州知事、農務長官に指名

ブッシュ大統領は辞意を表明したベネマン農務長官の後任に、ネブラスカ州知事ジョハンズ氏(共和党)の指名を発表した。同氏はアイオワ州の酪農家出身で、弁護士からネブラスカ州郡行政委員、リンカーン市市長を経て、99年からネブラスカ州知事に就任。同州産の牛肉販売促進のため、これまで代表団を率いて日本、台湾、シンガポール等を歴訪している。畜産を含む農政と貿易の経験が豊富で、業界関係者は歓迎している。

※2004年12月6日 Cattle Buyers Weekly

★次号 (Volume 020) の発行は2005年1月17日 (月) となります